

ASIAN WOMEN'S FUND NEWS

tel. 03-3583-9346

女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)事務局

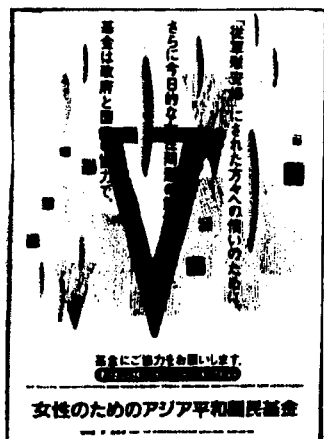
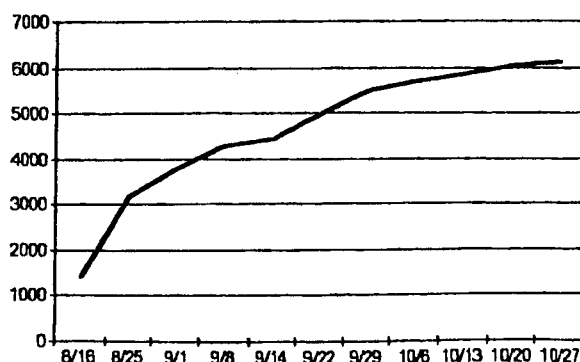
■郵便振替口座:00180-3-71164 ■〒107東京都港区赤坂2-17-42 赤坂アネックス

募金総額は10月27日現在、約6140万円に

アジア女性基金への国民のみなさんからの募金総額は、10月27日現在、6143万1606円(2630件)に達しました。これは基金の郵便振替口座へ、また日本赤十字社、全国福祉協議会の口座を通して寄金をいただいたものです。

郵便振替の口座名、番号を刷り込んだ用紙(料金は加入者負担)もできています。相当枚数を希望の場合はお申し込みいただきしだいお送りします。

(万円)



ポスターなどを配布、職域募金も本格化へ一月内に新聞広告

基金の事業とその募金をPRするポスター、リーフレット、募金箱ができあがりました。すぐにこれらを、省庁、都道府県をはじめ自治体・公共機関、また企業団体、労働組合などに送りました。

あわせて11月中旬、中央紙・ブロック紙・地方紙(計58紙)に広告を掲載します。雑誌広告も予定しています。

これらによって、募金広報を盛り上げていくとともに、職域をふくむ本格的・広範な募金活動に入ります。

←ポスター(4色)

大阪、山形など…基金関係者が各地の集會に出席

アジア女性基金では、各地で開かれる集會に呼びかけ人、理事、運営審議会委員が出席し、基金の活動などを話しています。10月19日には大阪「平和・人権センター」の集まりに下村満子理事が出席しました。大阪では、「国がもっとなすべきとも考えるが、いまできることをしてアジア女性基金にも協力したい」との意見が参加者から聞かれました。

12月にも、山形の集まりに、呼びかけ人の三木睦子、大鷹淑子、大沼保昭のみなさんの出席が予定されています。同じく呼びかけ人の和田春樹さんは、参加要請があり、独自に11月6日午後6時、文京区シビックセンターでの戦後補償をめぐる討議に参加します。

「対話」「広報」「事業」について小委員会で検討

募金活動の推進とともに、基金運営審議会では、「作業部会」として小委員会を設置し、関係各国・地域への対話チームの派遣、広報活動の具体案、女性尊厳事業の検討を進めています。そのため、国内外の関係団体や関係者からさまざまなご要望やご意見を聞く機会もっています。具体策が固まりしだい順次、公表してまいります。

インターネットに「アジア女性基金」アップ

http://www.kantei.go.jp 政府は、インターネット画面上でもアジア女性基金の発足をお知らせしています。インターネットに首相官邸ホームページがあり、冒頭のアクセスをして、そのMENUのひとつ「女性のためのアジア平和国民基金」をクリックすると基金のメッセージが表示されます。8月15日以降のせているのは、7月18日の呼びかけ人による「呼びかけ文」、村山首相の「ごあいさつ」とその英訳文、呼びかけ人、役員、運営審議会委員のリストです。アクセス回数は、10月17日までに日本語で2119件、英語2846件となっています。

募金いただいた方からのメッセージ

郵便振替で募金してくださった方の中には、用紙の「通信欄」にメッセージを書き込んでくださる方がたくさんあります。その中から一部を紹介します。内容を整理すると、「有効に使ってほしい」「元「従軍慰安婦」の方々へお詫びの気持ちを伝えて」「国がすべきと思っても、私自身も何かをしたい。募金する」という声が多く寄せられています。こうした貴重なメッセージは、随時まとめて基金の役員や政府関係者に、事務局から報告しています。

○これ一回でなく、これから何回でも送りたいと思っています。戦中のことを知っている76歳です。

○国際化を云々する前に、まず政府は、歴史的に侵略した地域の人々に対し、補償をするべきだと思います。補償を民間まかせにしているという姿勢が感じられますが、少ないながらお役立てくださいますよう、お願い申し上げます。

○私たちがきちんと反省、謝罪をし過去をきちんと清算し、その後に将来をあたらしく築くべきです。父が中国に従軍で行きましたので、心配です。国民として子供として「従軍慰安婦」の方々へ少しでもお詫びができたと思います。ほんの少しですが使ってください。○こういうアジア女性基金ができるのを待っていました。日本人としての胸のつかえが少し軽くなる思いです。うれしいことです。○「民衆の側の戦争責任」自覚のもとに参加します。○この国の人間である以上、この国の過去の過ち、歴史からのがれることはできません。従軍慰安婦とされた皆様に日本人として、人間として心からお詫び申し上げます。アジア女性基金のご成功お祈りいたします。――あの戦争を知らない27歳の若者より

○政府による補償と、国会の決議による謝罪が絶対に必要だと思います。しかし犠牲者のハルモニたちが年老いておられるので。私自身、なにもしないままに、経済大国日本の余得だけを受け取っているわけにはまいりません。慰安婦制度の根底的な究明と、すべての資料を明らかにしてください。○ささやかですが、有意義に使っていただけることを期待しています。○国の謝罪と補償が良いと思いますが、そこへの過程としての民間基金に賛意を表します。ささやかですが家族…(4人の名)の募金です。活用ください。私の父はいま77歳で、満州、沖縄で参戦しました。基金の成功をお祈りいたします。

■アジア女性基金の設立からの経過■

- 1995年6月14日 五十嵐官房長官、女性のためのアジア平和友好基金の事業、政府の取り組み、「呼びかけ人」リスト発表
- 7月18日 呼びかけ人の「呼びかけ文」、村山総理「ごあいさつ」発表
- 7月19日 女性のためのアジア平和国民基金が発足、港区赤坂に事務局開設
- 7月27日 原文兵衛前参議院議長、理事長に選任
- 8月1日 設立の集い(東條会館)
- 8月11日 政府、アジア女性基金の事業に協力する旨、閣議了解
- 8月15日 新聞広告の掲載により募金開始
- 9月22日 募金総額5000万円を突破
- 10月20日 募金総額6000万円を突破

■郵便振替口座番号 00180-3-71164 口座名「女性のためのアジア平和国民基金」